iPad授業ガイド

中学校３年　英語

2026年6月

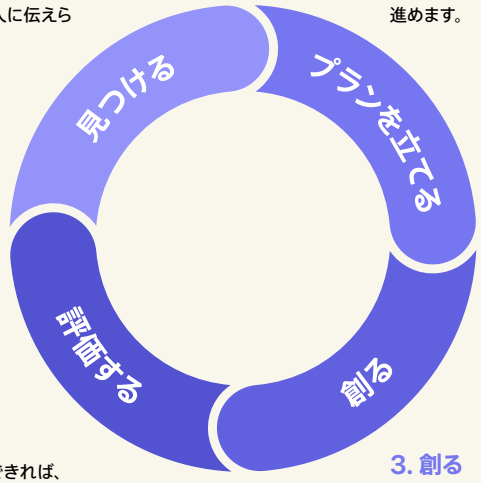
はじめに

このガイドについて

このガイドは、学習指導要領において重要視されている主体的・対話的で深い学びを、iPadを使って実現するための指針となるものです。それぞれの学年の教科ごとに3つの単元をピックアップし、毎日の授業に簡単に取り入れられるアイデアを紹介しています。各単元は、下記のデザインプロセスにもとづいて設計されています。このプロセスに沿って授業を進めることで、生徒たちは学習内容を身の回りのものと結びつけて考え、表現することを通して、知識を定着させていくことができます。

1. 見つける
体験活動などを通して、課題意識を持った教科内容について、生徒が自ら情報を集め、言葉や写真、ビデオなどを使って整理することで、気づいたことを周りの人に伝えられるようにします。

2. プランを立てる
収集した情報を比較したり、分析したりしながら、周りの人の見解や新たな発見を通して整理し、伝える内容をより充実させる計画を立て、準備を進めます。



3. 創る
スケッチや音楽、ビデオやプレゼンテーションなどの創作活動を通して、学んだことを自分の強みと結びつけ、理解した内容を目に見える形で表現します。

4. 評価する
自分らしく学ぶことができれば、生徒たちはもっとスキルを高めて様々な方法で表現したいと思うようになります。他者評価や振り返りを通して学んだことを言語化し、応用できるように概念化して、次の学びにつなげます。

情報活用能力について

情報活用能力は、言語能力や問題発見・解決能力と同様に、学習の基盤となる資質・能力として位置付けられており、教科横断的な視点での育成が求められています。このガイドで紹介するアイデアを授業に取り入れれば、情報活用能力を自然かつ効果的に身につけていくことにつながり、そこで獲得したスキルはほかの教科においても簡単に応用することができます。文部科学省作成の情報活用能力の体系表（16ページ以降）は、この能力を段階的、体系的に育成するため、具体的な内容を資質・能力の3つの柱に沿った、5つのステップに分けて提示しています。中学校向けのガイドでは、ステップ4に相当するスキルを養えるよう、この体系表を参考にアイデアを紹介しています。ぜひこれらの情報を新しい授業作りやカリキュラム・マネジメントに役立ててください。

形成的評価のためのルーブリック

資質・能力の3つの柱をバランスよく伸ばせているか、また、教師のみなさんの「ねがい」や「ねらい」が実現されているかを確認する助けとなるよう、各単元の活動内容に合わせたルーブリックを用意しました。項目ごとに複数の評価基準を提供しているので、その中から、教師のみなさんが注目し、成長を見取っていきたい内容を選んで記録することができます。単元を左記のデザインプロセスに沿って評価し記録することで、テストだけでは測りきれない学習効果を可視化したり、生徒の振り返りに活用したりすることもできます。

ルーブリックをダウンロードする

実践的な学びを促すワークシート

教師のみなさんが授業をスムーズに進められるように、各単元の活動内容に合わせたワークシートを用意しました。PDF内のリンクからダウンロードしたワークシートをAirDropや、授業支援ツールのスクールワーク、クラスルームなどで配布すれば、生徒はファイルを開いて「編集」をタップするだけですぐに課題に取り組むことができます。

学習内容の概要

単元

Our Traditions

iPadを使って、学校や地域などの伝統を紹介するビデオを制作します。時間軸と英語の構文を視覚的に結びつけられるので、時制表現の用法についてより深いレベルで理解することができます。

School News

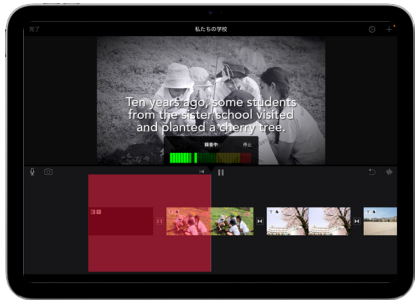
iMovieを使って、学校内の出来事を取り上げるニュース番組を作ります。自分やほかの生徒の話す姿を撮影したビデオを客観的に見ることによって、人に伝わりやすい英語表現を用いたコミュニケーションについて考え、実践する力が養われます。

My Wish

仮定法を用いた文章を組み合わせて、オリジナルのストーリーを作ります。Pagesを使ってオーディオブックに仕上げる過程で、自分の願いや考えを、英語の文章や会話の中で楽しく表現する力が身につきます。

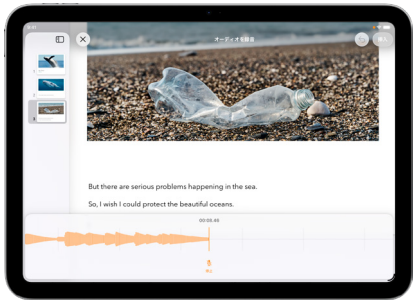
活動内容

①学校や地域の伝統を調べよう
②原稿を作ろう
③紹介ビデオを作ろう
④お互いの作品を評価しよう



①ニュースの内容を考えよう
②ニュースの素材を撮影しよう
③ニュース番組を作ろう
④クラスメートから意見をもらおう

①ストーリーを考えよう
②セリフを考えよう
③オーディオブックを作ろう
④お互いの作品を聞いてみよう



使用するアプリ

カメラ　メモ　Safari　ボイスメモ　Numbers　iMovie

カメラ　Numbers　Keynote　iMovie

カメラ　メモ　Safari　Pages　Keynote

Our Traditions

iPadを使って、学校や地域などの伝統を紹介するビデオを制作します。時間軸と英語の構文を視覚的に結びつけられるので、時制表現の用法についてより深いレベルで理解することができます。

1	見つける	第1時 学校や地域の伝統を調べる	活動アイデア 1 5ページ 学校や地域の伝統を調べよう
2	プランを立てる	第2時 現在完了形（経験用法）を学ぶ	
3		第3時 現在完了形（完了用法）を学ぶ	
4		第4時 現在完了形（継続用法）を学ぶ	
5		第5時 現在完了進行形を学ぶ	活動アイデア 2 5ページ 原稿を作ろう
6	創る	第6〜7時 学校や地域の伝統を紹介するビデオを作る	活動アイデア 3 6ページ 紹介ビデオを作ろう
7	評価する		
8		第8時 作品を比較し評価する	活動アイデア 4 6ページ お互いの作品を評価しよう

*活動アイデア1〜4は、各単元の中でiPadの活用効果の高い箇所に紐付けて示しています。なお、各単元の想定時数や授業の流れは、使用する教科書や教材などにより異なります。

学習目標

現在完了形、現在完了進行形を使って、身近な話題について、簡単な情報や考えなどを表現できるようになる。

身につく力

現在完了形、現在完了進行形を使って、自分の身近にある伝統について英語で表現する力。また、時間の流れに着目して情報を整理する力。

使用するアプリ

評価

各活動アイデアについて、「ルーブリック」を使って、生徒が学習目標をどの程度達成できたかを評価します。

ルーブリックをダウンロードする

iPad授業ガイドの詳しい使い方は
「使ってみようiPad授業ガイド」にて確認できます。
「使ってみよう iPad授業ガイド」をダウンロードする

Our Traditions

見つける | 活動アイデア 1　学校や地域の伝統を調べよう

① 自分が通っている学校や住んでいる地域で、「以前このような行事があった」「このような伝統がいつからあり、現在も続いている」といった情報を集めてメモアプリにまとめます。資料を調べたり、Safariで検索したり、教師や身近な人たちに話を聞いたりするとよいでしょう。

② ①でまとめた情報をもとに、それを紹介するビデオを撮影する場所を決めます。カメラアプリで関係する場所の写真を撮影し、「年表」のワークシートに時系列で整理します。過去の出来事の写真はエフェクトを適用してモノクロにするなど、視覚的にもわかりやすくまとめます。

「年表」のワークシートをダウンロードする

活用できるアプリ

カメラ　メモ　Safari　Numbers

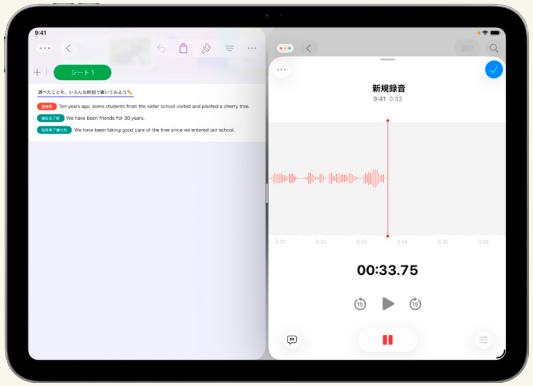
情報活用能力

比較や分類、関係付けなどの情報の整理の仕方（ステップ4）

プランを立てる | 活動アイデア 2　原稿を作ろう

① 活動アイデア3で紹介ビデオを作るための原稿を作成します。時制を意識しながら、調べた内容を紹介する文章を考え、活動アイデア1で作成した「年表」のワークシートにまとめます。

② 「年表」のワークシートにまとめた原稿を複数のウインドウを使って確認しながら読み上げ、ボイスメモアプリなどで録音して練習を繰り返します。



活用できるアプリ

ボイスメモ　Numbers

情報活用能力

キーボードなどによる十分な速さで正確な文字の入力（ステップ4）
目的に応じた適切なアプリケーションの選択と操作（ステップ4）

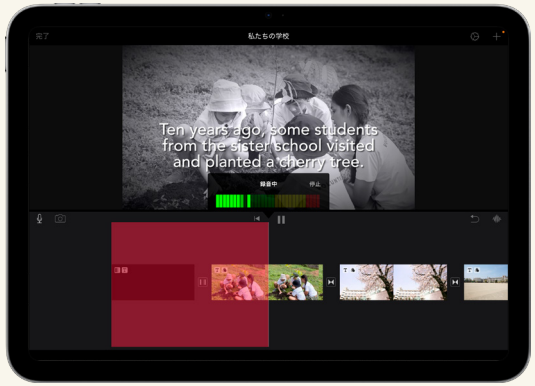
Our Traditions

創る 活動アイデア 3　紹介ビデオを作ろう

① 活動アイデア1で集めた情報や資料をもとに、iMovieを用いて紹介ビデオを作成します。フィルタを使って写真やビデオを加工し、現在、過去、未来のうち、どの時点を表しているのかが伝わるように工夫します。

② 活動アイデア2で考えた原稿を読みます。iMovieのタイトルで英語の字幕を入れて、スピーキングの音声を直接ビデオに録音します。字幕を見ながら音読できるので、発音の練習にも役立ちます。

③ 音楽を追加して、紹介ビデオとして完成させます。



活用できるアプリ

iMovie

情報活用能力

情報を統合して表現する方法（ステップ4）
事象を情報とその結び付きの視点から捉えようとする（ステップ4）

さらに学びを深める　作品をブラッシュアップしよう

- ストーリーボードの美しいテンプレートを活用することで、様々な表現力を養うことができます。
- GarageBandで音楽を作って追加し、よりオリジナリティのあるビデオに仕上げましょう。

評価する 活動アイデア 4　お互いの作品を評価しよう

活動アイデア3で作成したビデオをほかの生徒と見せ合って、自分が意図した内容や時間関係が正しく伝わっているかを評価します。相手の作品を見る時は、ナレーションや字幕を消した状態で再生し、映像から伝わる内容を英語の文章で表現してみてもよいでしょう。もとの文章と照らし合わせることで、内容や時間関係がうまく伝えられているかどうかを客観的に判断できます。完成した作品の中からいくつか選んで、学校のウェブサイトなどで公開し、地域の人たちに見てもらうこともできます。

School News

iMovieを使って、学校内の出来事を取り上げるニュース番組を作ります。自分やほかの生徒の話す姿を撮影したビデオを客観的に見ることによって、人に伝わりやすい英語表現を用いたコミュニケーションについて考え、実践する力が養われます。

1	見つける	第1時 ニュースに取り上げる内容を決める	活動アイデア 1 8ページ ニュースの内容を考えよう
2	プランを立てる	第2時 不定詞「It is…(for+(人など))+to+動詞の原形」を学ぶ	
3		第3時 不定詞「want+(人など)+to+動詞の原形」を学ぶ	
4		第4〜5時 不定詞「let[help]+(人など)+動詞の原形」を学ぶ	
5			活動アイデア 2 8ページ ニュースの素材を撮影しよう
6	創る	第6〜7時 ニュース番組を作る	活動アイデア 3 9ページ ニュース番組を作ろう
7	評価する		
8		第8時 クラスメートのニュース番組を見て意見を交換する	活動アイデア 4 9ページ クラスメートから意見をもらおう

*活動アイデア1〜4は、各単元の中でiPadの活用効果の高い箇所に紐付けて示しています。なお、各単元の想定時数や授業の流れは、使用する教科書や教材などにより異なります。

学習目標

「It is…(for+(人など))+to+動詞の原形」「want+(人など)+to+動詞の原形」といった不定詞の表現を使って、相手に配慮しながら、英語を用いてコミュニケーションを図れるようになる。

身につく力

不定詞を用いて、他者を紹介する文章を構成する力。また、視聴する人にとってわかりやすい表現を考え、工夫する力。

使用するアプリ

カメラ　Numbers　Keynote　iMovie

評価

各活動アイデアについて、「ルーブリック」を使って、生徒が学習目標をどの程度達成できたかを評価します。

ルーブリックをダウンロードする

iPad授業ガイドの詳しい使い方は
「使ってみようiPad授業ガイド」にて確認できます。
「使ってみよう iPad授業ガイド」をダウンロードする

School News

見つける 活動アイデア 1　ニュースの内容を考えよう

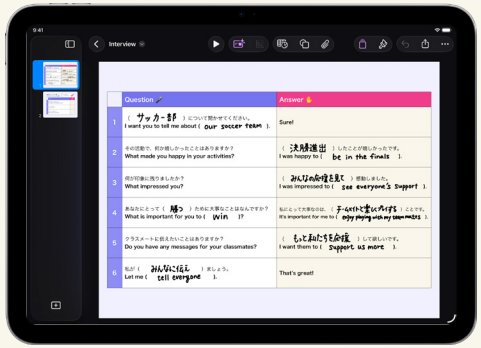
① 数人のグループに分かれてニュース番組を作ります。グループの中で、部活や行事で活躍した人など、誰か1人を取材対象として取り上げ、ニュースの題材を決定します。

② 取材対象者が決まったら、ほかのメンバーでニュースキャスター、インタビュアー、コメンテーターなどの担当に分かれ、ニュース全体の内容を考えて、「News Script」のワークシートにまとめます。

③ 「Interview」のワークシートをもとに、不定詞を使った英語の文章になるよう、インタビューの原稿を作成します。原稿が完成したら、「Interview」のワークシート内のチェックリストを使いながら、グループごとに読む練習をします。

「News Script」のワークシートをダウンロードする

「Interview」のワークシートをダウンロードする



活用できるアプリ

Numbers　Keynote

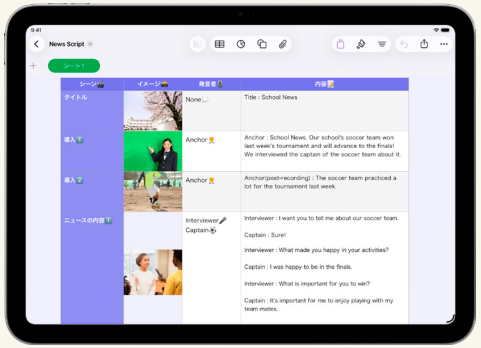
情報活用能力

調査を設計し、情報メディアの特性を踏まえて、効果的に情報検索・検証し、目的や状況に応じて統計的に整理したり、「考えるための技法」を組み合わせて活用したりして整理する（ステップ4）

プランを立てる 活動アイデア 2　ニュースの素材を撮影しよう

① インタビューの原稿を「News Script」のワークシートに書き込み、ニュース番組の構成を確認します。

② ①で確認した構成に沿って、カメラアプリでニュース番組の素材となる写真やビデオを撮影します。臨場感を出すために、グラウンドや部室の前などから中継でインタビューしたり、グリーンスクリーンの前で撮影してあとから背景を合成したりしてもよいでしょう。



活用できるアプリ

カメラ　Numbers

情報活用能力

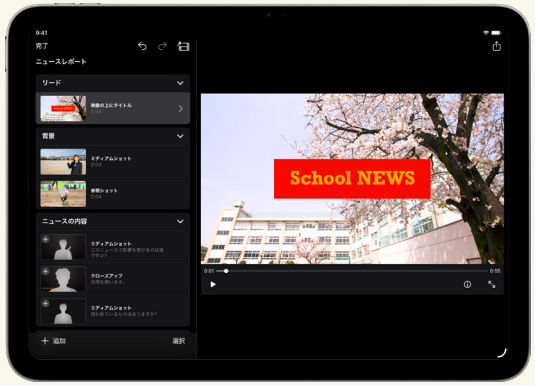
目的に応じて情報の傾向と変化を捉える方法（ステップ4）

School News

創る 活動アイデア 3　ニュース番組を作ろう

① 活動アイデア2で用意した素材を使って、ニュース番組を作成します。iMovieのストーリーボードで「ニュースレポート」のテンプレートを使えば、構成に沿って写真やビデオを追加するだけで簡単にムービーが作成できます。

② 話している英語が聞き取りやすいように音量を調整したり、字幕を付けたりして、ムービーとして完成させます。



活用できるアプリ

iMovie

情報活用能力

目的に応じた適切なアプリケーションの選択と操作（ステップ4）
情報を統合して表現する方法（ステップ4）

さらに学びを深める　ニュース番組をより印象的なものにしよう

- 活動アイデア2でビデオを撮影する際に、カット割りやアングル*1などにこだわって、伝えたいメッセージを際立たせましょう。活動アイデア1で使った「News Script」のワークシートにセルを追加して撮影計画をまとめておくと、効率よく作業を進めることができます。
- GarageBandのApple Loops*2などを使って、オリジナルのオープニングテーマ曲を作成してみましょう。

*1) Everyone Can Create：ビデオ「解説ビデオ」　60ページ
*2) Everyone Can Create：音楽「ポッドキャストの録音」　7ページ

評価する 活動アイデア 4　クラスメートから意見をもらおう

完成したニュース番組をグループ同士で見せ合います。英語の発音や抑揚のつけ方、ニュース番組の構成のほか、インタビューのやり取りが自然かどうかなどの観点で、それぞれのグループのよかったところを具体的に挙げます。また、実際の英語のニュース番組などを視聴し、イントネーションや話す速度、ジェスチャーなどの特徴に注目しながら、自分たちの作品との違いを分析し、より内容が伝わりやすいビデオを作るにはどのような工夫が必要かをグループで話し合ってもよいでしょう。

My Wish

仮定法を用いた文章を組み合わせて、オリジナルのストーリーを作ります。Pagesを使ってオーディオブックに仕上げる過程で、自分の願いや考えを、英語の文章や会話の中で楽しく表現する力が身につきます。

1	見つける	第1時 「もし〇〇だったら」のストーリーを考える	活動アイデア 1 11ページ ストーリーを考えよう
2	プランを立てる	第2時 仮定法 (I wish I could [had] ....)を学ぶ	
3		第3〜4時 仮定法 (If+主語+were ..., ~.)を学ぶ	
4			
5		第5〜6時 仮定法(If+主語+動詞の過去形, ...)を学ぶ	
6			活動アイデア 2 11ページ セリフを考えよう
7	創る	第7時 オーディオブックを作る	活動アイデア 3 12ページ オーディオブックを作ろう
8	評価する	第8時 作品をお互いに評価する	活動アイデア 4 12ページ お互いの作品を聞いてみよう

*活動アイデア1〜4は、各単元の中でiPadの活用効果の高い箇所に紐付けて示しています。なお、各単元の想定時数や授業の流れは、使用する教科書や教材などにより異なります。

学習目標

「If+主語+動詞の過去形...」といった仮定法を使って、自分の考えや気持ちなどを表現し、まとまりのある内容を伝えることができるようになる。

身につく力

仮定法の英文を使って、架空の状況についてストーリーを組み立てて説明したり、感想や意見を述べたりする力。

使用するアプリ

評価

各活動アイデアについて、「ルーブリック」を使って、生徒が学習目標をどの程度達成できたかを評価します。

ルーブリックをダウンロードする

iPad授業ガイドの詳しい使い方は
「使ってみようiPad授業ガイド」にて確認できます。
「使ってみよう iPad授業ガイド」をダウンロードする

My Wish

見つける 活動アイデア 1　ストーリーを考えよう

① 自分以外の誰かの立場になりきり、「もし自分が〇〇だったら」というテーマでストーリーを考えます。「もし科学者だったら」「もし会社の社長だったら」など、自分の願いや考えを表現できるシチュエーションを選びます。

② テーマに合わせてカメラアプリで写真を撮影したり、Safariで画像を検索したりして、集めたものをメモアプリにまとめます。イメージをより膨らませるため、Keynoteの描画を使い、写真をなぞってイラストにしてみたり、背景を削除して自分の画像を合成したりしてみてもよいでしょう。

活用できるアプリ

カメラ　メモ　Safari　Keynote

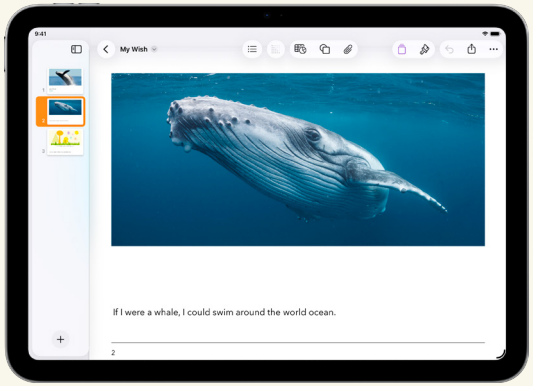
情報活用能力

情報通信ネットワークなどからの効果的な情報の検索と検証の方法（ステップ4）
目的に応じて情報の傾向と変化を捉える方法（ステップ4）

プランを立てる 活動アイデア 2　セリフを考えよう

① Pagesのブックテンプレートを使って、デジタルブックを作成します。図形や写真を活用して、活動アイデア1で考えたストーリーをまとめます。

② ストーリーができたら、セリフなどの文章を考えます。
英文例：
If I were a whale, I could swim around the world ocean.
There are serious problems happening in the sea.
So, I wish I could protect the beautiful oceans.



活用できるアプリ

Pages

情報活用能力

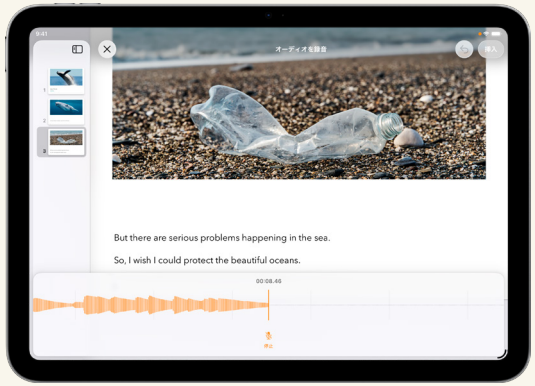
条件を踏まえて情報及び情報技術の活用の計画を立てる手順（ステップ4）

My Wish

創る 活動アイデア 3 オーディオブックを作ろう

① 活動アイデア2で考えた文章を使って、オーディオブックを作ります。自分で読み上げた音声をPagesで録音して、各ページに貼り付ければ、簡単にオーディオブックを作成できます。

② ストーリーの内容を表現した表紙を追加し、EPUB形式で書き出します。



活用できるアプリ

Pages

情報活用能力

目的に応じた適切なアプリケーションの選択と操作（ステップ4）
情報のデジタル化や処理の自動化の仕組み（ステップ4）
情報を統合して表現する方法（ステップ4）

さらに学びを深める 伝え方を工夫しよう

- GarageBandで情景を表現するオーディオを作成してPagesに読み込めば、より効果的にストーリーを伝えることができます。さらに、Audio RecorderのFunを使って声を変えるなどの工夫をすると面白い作品に仕上がります。
- 英語のドラマやアニメなどの音声をお手本にしながら、抑揚のつけ方や話す速度などを自分の朗読に活かしましょう。

評価する 活動アイデア 4 お互いの作品を聞いてみよう

完成したオーディオブックをiCloud Driveなどにアップロードして共有し、それぞれの作品を聞きます。Numbersで作成したクラスメートの一覧表を配布し、ほかの生徒の作品について内容や表現の面で気づいた点、よかった点を各自が書き込みます。"If I were ...."というフレーズを使って違うアイデアをフィードバックしたり、"What would you do if you were ...?"というフレーズでほかの生徒に質問したりして内容を発展させることで、仮定法をさらに実践的に身につけることができます。

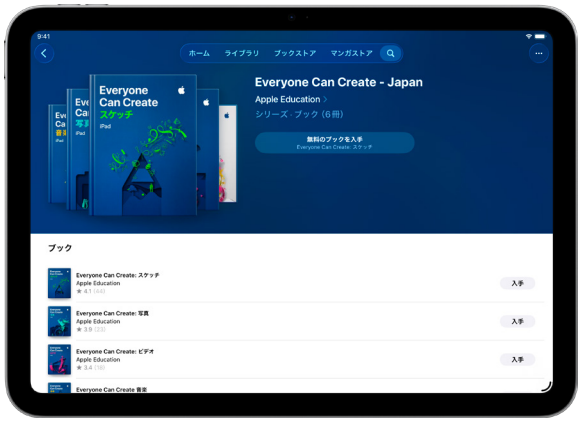
Appleのリソースについてもっと知る

Appleは教師のみなさんをサポートするために、様々な無料のリソースを提供しています。このガイドも、Everyone Can CreateおよびApple Teacherという2つのプログラムで紹介されている授業のアイデアやスキルを日本の小中学校に合わせた形で紹介したものです。さらに学びを深めたい方は、これらのリソースもぜひご覧ください。

Everyone Can Create

Everyone Can Createはアイデアを生み出し、伝えるスキルを身につけるためのプログラムです。ビデオ、写真、音楽、スケッチという表現手段をあらゆる教科に取り入れられるよう、4つのプロジェクトガイドと、2つの教師用ガイドを無料で提供しています。創造的な授業が、生徒の才能を引き出し、学びに夢中になるきっかけとなり、知識や技能の向上につながることは、調査研究によって示唆されています。これらのガイドを参考にしながら、授業をより魅力的なものに進化させ、クリエイティブなアクティビティを毎日の授業に取り入れる方法を身につけましょう。

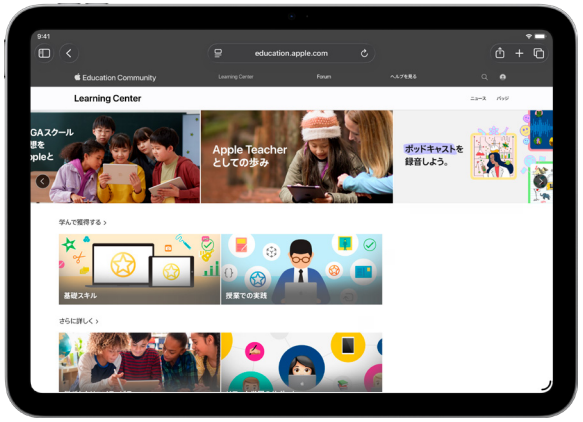
さらに詳しく >



Apple Teacher

Apple Teacherは、毎日の授業や自身のスキルアップにApple製品を取り入れている教師のみなさんをサポートし、その成果をたたえるための無料のプロフェッショナルラーニングプログラムです。iPadやApple製アプリの使い方、授業のアイデアや実践例など、教師のみなさんに役立つリソースが数多く用意されています。プログラムに登録したメンバーには、Appleと教育に関するお知らせなどをメールで定期的にお届けします。

さらに詳しく >



© 2026 Apple Inc. All rights reserved. AirDrop、Apple、Appleのロゴ、GarageBand、iMovie、iPad、Keynote、Numbers、Pages、Safariは米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。Everyone Can Create、iCloud Driveは米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.のサービスマークです。この資料に記載されているその他の製品名および社名は、各社の商標である場合があります。製品仕様は予告なく変更される場合があります。この資料は情報提供のみを目的として提供されます。Appleはこの資料の使用に関する一切の責任を負いません。2026年6月